

令和四年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

期間 令和四年二月一日〜令和四年四月末

選者 星野椿、星野高士

特選三句

天 花の雲 鎌倉殿の宴かな
神奈川県横浜市 佐藤 満

地 寿福寺に汀子師 偲ぶ虚子忌かな
埼玉県狭山市 古谷 彰宏

人 富士を背に谷戸から谷戸へ春の鳶
神奈川県横浜市 内藤 敏雄

入選句

一般の部(二十句)

春風に背中押される友の声

群馬県前橋市 新井 木乃香

潮風に花散る 伽藍光明寺

東京都港区 伊集院 秀樹

散りゆくを知るか知らずか若桜

神奈川県鎌倉市 角谷 昌則

海からの風待ち侘びる谷戸の梅

神奈川県横浜市 加藤 文男

梅の香の蘇我兄弟の志

東京都多摩市 剣持 都

梵鐘の流るる五山春近し

神奈川県鎌倉市 斉藤 マサ子

短めの母の形見の春裕

神奈川県鎌倉市 佐藤 利一

春風と共に旅立つ君の声

群馬県桐生市 柴田 華奈

初投句 鎌倉遠し春の虹

東京都足立区 田中 正博

槐門のさだめ 偲びし実朝忌

神奈川県横浜市 谷田 八千代

岩を割る 董愛しや何もかも

神奈川県大和市 寺尾 明子

幼な子の瞳に映えし桜かな

神奈川県横浜市 内藤 栄美

子らの声空に弾きて木の芽吹く

神奈川県茅ヶ崎市 能勢 仲子

会釈して桜ふぶきの段葛

東京都杉並区 野村 親信

春潮や白帆の動き 確かめて

東京都町田市 星野 佐紀

観音の笑みが咲きけり梅の花

愛知県知立市 藪谷 恭江

大仏の目には見えねど山櫻

神奈川県横浜市 山下 省三

恋人が似合うとはしゃぐ春セーター

千葉県鎌ヶ谷市 吉川 黎

春めくや雲をおしきる空の色

神奈川県横浜市 吉田 とも子

吹き上ぐる風の石段 燕舞ふ

埼玉県坂戸市 渡邊 俊一

子ども部(十句)

大仏をいっしょに見たようぐいと

大阪府豊中市 小林 遥子

さくらみちバスがあるきにぬかされた

神奈川県横浜市 加藤 友康

春雨も大仏すっかり耐えている

東京都目黒区 釜江 定頼

はるかぜがふうつといきをはいてるよ

神奈川県鎌倉市 いしい かいと

カエルがねおはようつておきてきた

神奈川県鎌倉市 ふくだ こはく

うぐいすはいいこえだしていいきぶん

神奈川県鎌倉市 よしの かいと

鎌倉や空ときれいな春の海

東京都文京区 須田 真優

暖たかな鎌倉の町 走るりす

東京都文京区 柴田 夕楓

歩く度梅の香りに身がはずむ

東京都町田市 馬場 海優

青いそらやつとやーつとはるがきた

神奈川県横浜市 池田 ひろ人

(順不同)



鎌倉の四季折々を十七文字に・・・
鎌倉俳句&ハイク実行委員会
〒248-0016 鎌倉市長谷 1-5-3
公益財団法人鎌倉市芸術文化振興財団内
鎌倉俳句&ハイク実行委員会
TEL 0467(22)5010
<https://www.kamakura-haiku.com/>